

5月  
市議会



日本共産党  
京都市会議員

山中 渡 です

URL <http://yamanaka-wataru.jp/> ✉ [shikai@yamanaka-wataru.jp](mailto:shikai@yamanaka-wataru.jp)

# ！大飯原発再稼働ストップを

## 市長に申し入れ



市長への申し入れ（6月1日）

福島原発事故について、「原因究明ができていない。規制機関もつくられていない」と指摘。京都市は原発群に最も近い位置にある大都市。市長の責任として、「原発ゼロの立場にたち、再稼働に反対すべき」と、政府の再稼働方針の撤回を再三申し入れてきました。

ごあいさつ

国と同様に、京都市も「京プラン」と称する「行革」をすめようとしています。消費税増税に加えて、高すぎる国保税、緊急通報システム利用の負担増などの動きに心配の声が広がっています。道州制で住民自治を壊す流れも強まっています。くらしを守る立場でいっそう力をつくします。

山中 渡

### 現在の役職

- 日本共産党 京都市会議員団 団長
- くらし環境常任委員会 委員

## ！5月定例会市会・予算委員会で 関西広域連合への参加を批判

関西広域連合参加は道州制への一里塚。道州制は、関西財界の構想にあるように、大阪湾岸開発や空港整備、第2名神整備、リニア新幹線構想など新たな大型開発に、関

係自治体の財源を集中させると厳しく批判し、京都市などに新たな負担が生じ、住民自治が壊れると指摘。関西広域連合に参加すべきでない」と迫りました。

## ▽西洞院通の安全確認・現地調査

南部土木事務所との立会いのもと、5月8日、2回目の西洞院通（七条―塩小路間）の安全確認・現地調査を行いました。この区間を利用されているみなさんから「歩道が狭い」「車椅子で通行できない」「支障となっている電柱の移設を」などの声が出されていました。

この日の調査でも、近隣住民の方から、車道と路側帯を区別する白線が消えていること、支障電柱の存在、道路構造の根本改善の要望などが指摘されました。



## ▽京都市美術館を視察

4月17日、京都市美術館を視察しました。課題となっていた館内の空調効果の向上、外壁、窓ガラス、飾り金具などの修復、トイレの改修などについての説明を受けた後、視察を行いました。また、4月7日から同美術館で開催されている京都市美術館コレクション展第一期「井田照一 版の思考・間の思索」を鑑賞しました。



## ▽市民は再稼働反対

政府の原発再稼働強行の動きに対し、下京区では市民の「再稼働反対」の昼休みデモが取り組まれています。デモや集会で、「稼働ゼロを」「原発ゼロ」の流れにすることが大事。福島原発事故の教訓を本当に生かそうとするなら、再稼働すべきでない」と訴えています。

